

(様式6) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

計画の名称	静岡県の陸・海・空のネットワークの形成、美しい港湾景観の保全と創造		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成24年度	交付対象	静岡県、静岡市
計画の目標			

地域経済を支える物流拠点、港湾利用者の親水空間として、岸壁・道路・緑地等の整備を行い利便性・安全性及び親水性の向上を図る。

計画の成果目標 (定量的指標)

- ・陸上輸送のボトルネック箇所を4箇所 (H22) から3箇所 (H24) に削減する。
- ・施設の利便性・安全性を向上させるため、改良・補修の整備率を22% (H22) から33% (H24) に増加させる。
- ・施設の安全性を向上させるため、アセットマネジメント導入率を14% (H22) から100% (H24) に増加させる。
- ・良好な港湾環境の形成を図るため、臨港地区に占める緑地面積率を4.48% (H19) から6.08% (H24) に増加させる。
- ・港湾エリアにおける観光・レクリエーション交流人口を946万人 (H18) から959万人 (H24) に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H 末)	最終目標値 (H24末)							
① 陸上輸送ボトルネック数	4箇所		3箇所							
② 施設改良・補修の整備率 (施設整備率) = (施設整備数) / (施設整備必要数)	22%		33%							
③ アセットマネジメント導入率 (アセットマネジメント導入率) = (施設整備数) / (施設整備必要数)	14%		100%							
④ 臨港地区に占める緑地の面積率 (緑地の面積率) = (整備済み緑地面積) / (臨港地区面積) (%)	4.48% (H19)		6.08%							
⑤ 港湾エリアにおける観光・レクリエーション交流人口	946万人 (H18)		959万人							
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,927 百万円	A	1,825 百万円	B		C	102 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	5%

静岡県社会資本整備重点計画における位置づけ

第2期 (H20~H24)	第3期 (H25~H29)
分野名 環境・景観	分野名
目標名 美しい景観の保全と創造	目標名
指標名 良好な港湾環境を形成を図る、臨港地区に占める緑地の面積率	指標名
目標値 (H24)	6.08%

事後評価

1. 交付対象事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 (備考欄に完成予定時期を記入) - : その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等))

交付対象事業																
A1 港湾事業																
番号	事業種別	地域	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)			全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考
											H22	H23	H24			
1-A1-1	港湾	内地	静岡県	直接	-	特重	改良	橋梁 (改良)	数量 N=3 基	清水港・袖師地区				205	△	H29
1-A1-2	港湾	内地	静岡県	直接	-	特重	改良	岸壁 (改良)	水深 D=7.5m、延長 L=260m	清水港・日の出地区				40	-	未実施
1-A1-3	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	道路 (改良)	延長 L=840m	田子の浦港・中央地区				430	△	H29
1-A1-4	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	泊地 (埋没)	面積 A=43,000m <sup>3</sup>	田子の浦港・港内地区				513	△	H30
1-A1-5	港湾	内地	静岡県	直接	-	重要	改良	波除堤 (改良)	数量 N=4 基	田子の浦港・港内地区				127	○	

1-A1-6	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	建設	物揚場	水深 D=4.0m、延長 L=220m	下田港・外ヶ岡地区						420	△	H29
1-A1-7	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	道路	延長 L=80m	沼津港・内港地区						90	△	H26
合計																1,825		
<b>B 関連社会資本整備事業</b>																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24						
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
<b>C 効果促進事業</b>																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24						
1-C1-3	計画・調査	内地	静岡県	直接	—	調査	港湾物流促進戦略策定調査	物流促進戦略策定基礎調査	全県(駿河湾港)							10	○	
1-C1-4	活動支援	内地	静岡県	直接	—	活動支援	ポートセールス促進ワークショップ	ワークショップ年4回開催	全県(駿河湾港)							10	—	未実施
1-C1-5	計画・調査	内地	静岡県	直接	—	調査	臨港道路体系調査	道路網計画調査	清水港全域							10	—	未実施
1-C1-6	社会実験	内地	静岡市	直接	—	社会実験	海上アクセス社会実験事業	社会実験N=1式	清水港・新興津地区							30	○	
1-C1-7	計画・調査	内地	静岡県	直接	—	調査	港湾整備運営プロジェクト策定調査	港湾整備運営プロジェクト策定	全県(駿河湾港)							42	○	
合計																102		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																	備考
1-C1-3	港湾事業(1-A1-1)等と併せ、新たな静岡県港湾物流促進戦略を策定し、県内港湾の利用促進を図る。																	
1-C1-4	港湾事業(1-A1-1)等と併せ、清水港・御前崎港を中心として、関係団体のワークショップを開催し、ポートセールスを促進する。																	
1-C1-5	港湾事業(1-A1-1)と併せ、清水港の効果を最大限発揮するため、臨港道路の効率的な道路ネットワーク体系を検討する。																	
1-C1-6	港湾事業(1-A1-43)と併せ、情報提供施設設置・海上アクセス社会実験を行うことによりPR及び交流人口の増加を図る。																	
1-C1-7	港湾事業(1-A1-1)等と併せ、新たな駿河湾港の整備運営プロジェクトを策定し、県内港湾の利用促進を図る。																	
<b>その他関連する事業</b>																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考	
										H22	H23	H24						
1-A' 1-8	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	改良	興津第2埠頭岸壁改良	水深 D=10m、延長 L=1,158m	清水港・興津地区						12	○	
1-A' 1-9	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	改良	興津第2埠頭岸壁改良	水深 D=7.5m、延長 L=168m	清水港・興津地区						13	—	未実施
1-A' 1-10	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	改良	興津第2埠頭岸壁改良	水深 D=12m、延長 L=440m	清水港・興津地区						30	○	
1-A' 1-11	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	改良	袖師臨港道路(改良)	数量 A=60,060m <sup>2</sup>	清水港・袖師臨港道路地区						23	—	未実施
1-A' 1-12	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	改良	上屋 改良	数量 N=1棟	清水港・江尻富士見地区						39	—	未実施
1-A' 1-13	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	臨港道路15号線 改良(2)	延長 L=280m	田子の浦港・中央・富士地区						51	○	
1-A' 1-14	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	鈴川跨線橋 改良	数量 N=1橋	田子の浦港・鈴川・依田橋地区						140	△	H26
1-A' 1-15	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	富士1号上屋 改良	数量 N=1棟	田子の浦港・中央・富士地区						21	○	
1-A' 1-16	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	東埠頭1~6号岸壁 改良	延長 L=535m	御前崎港・女岩・御前崎地区						10	△	H25
1-A' 1-17	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	改良	港内道路11号線 改良	数量 A=20,000m <sup>2</sup>	御前崎港・女岩・御前崎地区						30	△	H29
1-A' 1-18	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	防波堤 消波工	延長 L=280m	熱海港・和田磯地区						21	△	H30
1-A' 1-19	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	和田磯船揚場	延長 L=20m	熱海港・和田磯地区						6	—	未実施
1-A' 1-20	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	玖須美第2船揚場 改良	延長 L=70m	伊東港・新井・玖須美地区						19	○	
1-A' 1-21	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	新井浜第1船揚場 改良	延長 L=101m	伊東港・新井・玖須美地区						40	△	H27
1-A' 1-22	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	東門橋 改良	数量 N=1橋	浜名港・向島・航路地区						15	—	未実施
1-A' 1-23	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	向島物揚場(第2) 改良	延長 L=180m	浜名港・向島・航路地区						6	○	
1-A' 1-24	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	港口中導流堤 改良	延長 L=443m	浜名港・向島・航路地区						15	—	未実施
1-A' 1-25	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	建設	波除堤	延長 L=6m	沼津港・外港地区						66	○	

1-A' 1-26	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	西物揚場改良	延長 L=160m	沼津港・内港地区							30	△	H29
1-A' 1-27	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	維持管理	清水港 長寿命化計画策定	外郭12件、係留39件、橋梁1件	清水港・全域							28	○	
1-A' 1-28	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	維持管理	田子の浦港 長寿命化計画策定	外郭6件、係留9件、橋梁6件	田子の浦港・全域							29	○	
1-A' 1-29	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	維持管理	御前崎港 長寿命化計画策定	外郭16件、係留24件、橋梁1件、L=41件	御前崎港・全域							23	○	
1-A' 1-30	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	熱海港 長寿命化計画策定	外郭12件、係留15件	熱海港・全域							10	○	
1-A' 1-31	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	伊東港 長寿命化計画策定	外郭14件、係留20件、橋梁1件	伊東港・全域							16	○	
1-A' 1-32	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	下田港 長寿命化計画策定	外郭6件、係留19件	下田港・全域							14	○	
1-A' 1-33	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	手石港 長寿命化計画策定	外郭1件、係留5件	手石港・全域							5	○	
1-A' 1-34	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	松崎港 長寿命化計画策定	外郭2件、係留9件	松崎港・全域							12	○	
1-A' 1-35	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	宇久須港 長寿命化計画策定	外郭2件、係留9件、橋梁1件	宇久須港・全域							13	○	
1-A' 1-36	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	土肥港 長寿命化計画策定	外郭3件、係留8件	土肥港・全域							11	○	
1-A' 1-37	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	沼津港 長寿命化計画策定	外郭2件、係留18件、橋梁1件	沼津港・全域							16	○	
1-A' 1-39	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	相良港 長寿命化計画策定	外郭10件、係留11件	相良港・全域							6	○	
1-A' 1-40	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	維持管理	浜名港 長寿命化計画策定	外郭1件、係留5件	浜名港・全域							13	○	
1-A' 1-41	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	建設	緑地	面積 A=6.1ha	田子の浦港・港口地区							160	△	H27
1-A' 1-42	港湾	内地	静岡県	直接	—	重要	建設	緑地	面積 A=4.6ha	田子の浦港・吉原地区							40	—	未実施
1-A' 1-43	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	みなと振興	防波堤、物揚場	防波堤延長L=300m、物揚場延長L=145m	清水港・新興津地区							700	△	H30
1-A' 1-44	港湾	内地	静岡県	直接	—	特重	建設	緑地	人工海浜、緑地A=2.8ha	清水港・新興津地区							240	△	H27
1-A' 1-45	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	建設	緑地	面積 A=0.4ha	沼津港・内港地区							60	—	未実施
1-A' 1-46	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	西埠頭8・9号岸壁改良	水深 D=5.5m、延長 L=80m	御前崎港・女岩・御前崎地区							8	—	未実施
1-A' 1-47	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	突堤	延長 L=60m	熱海港・和田磯・横磯地区							60	○	
1-A' 1-48	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	野積場改良	数量 A=2,513m <sup>2</sup>	松崎港・松崎地区							15	—	未実施
1-A' 1-49	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	臨港1号線改良	数量 A=40m <sup>2</sup>	松崎港・松崎地区							2	○	
1-A' 1-50	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	柿崎物揚場改良	数量 L=67m	下田港・柿崎地区							5	○	
1-A' 1-51	港湾	内地	静岡県	直接	—	地方	改良	外ヶ岡物揚場改良	数量 L=141m	下田港・外ヶ岡地区							15	△	H27
1-C' 1-1	施設整備	内地	静岡県	直接	—	建設		交流拠点・歴史的教育施設整備事業	展望施設、黒船ディアナ号	田子の浦港・港口地区							80	△	H27
1-C' 1-2	活動支援	内地	静岡県	直接	—	活動支援		みなとまちづくりワークショップ	ワークショップ年3回開催	田子の浦港・全域							15	—	未実施
合計																2,183			

番号 一体的に実施することにより期待される効果

1-C' 1-1 環境事業（1-A' 1-41）と一体的に整備し、地域の特性及び歴史を発信する場として港の賑わいを創出する。

1-C' 1-2 環境事業（1-A' 1-42）等と併せ、地域の意見を反映した効果的なみなとまちづくりを推進する。

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

（参考） 計画の成果目標を同一とする地域自主戦略交付金の交付対象事業

H24 G No. 93～95、185～203、206、209 H23 G No. 151～163、167

（別添「事業実施計画」参照）

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指標に関連する  
交付対象事業の効果の発現状況

交付対象事業及びその他関連する事業により連携して港湾施設の整備を実施することにより、地域経済を支える物流拠点、港湾利用者の親水空間としての利便性・安全性及び親水性の向上が図れ、結果として、陸上輸送ボトルネック数、施設改良・補修の整備率、アセットマネジメント導入率等の向上に寄与した。

定量的指標の達成状況	指標①（陸上輸送ボトルネック数）	最終目標値	3箇所	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に事業を実施することにより、目標の陸上輸送ボトルネック数の削減を達成することができた。
		最終実績値	3箇所		
	指標②（施設改良・補修の整備率）	最終目標値	33%	目標値と実績値に差が出た要因	施設の重要度、緊急度等を考慮した施設の改良・補修を実施することにより、目標の施設改良・補修の整備率の増加を達成することができた。
		最終実績値	46%		
	指標③（アセットマネジメント導入率）	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	対象となる各施設において、計画的な点検、長寿命化計画の策定を実施することにより、対象となる施設全てにおいて、長寿命化計画の策定及び計画に基づく維持管理が実施され、目標のアセットマネジメント導入率の増加を達成することができた。
		最終実績値	100%		
	指標④（臨港地区に占める緑地の面積率）	最終目標値	6.08%	目標値と実績値に差が出た要因	港湾事業全体の重要度を考慮した事業実施により、計画よりも進捗が遅れているが、平成24年度末の臨港地区内における緑地面積の割合は5.34%と着実に増加している。
		最終実績値	5.34%		
	指標⑤（港湾エリアにおける観光・レクリエーション交流人口）	最終目標値	959万人	目標値と実績値に差が出た要因	世界同時不況や東日本大震災等、計画策定時からの経済状況等の変化により、平成24年度時点においては、目標の観光・レクリエーション交流人口の増加は達成されていない。しかし、清水港の賑わい創出や活性化を目的とした「清水港まぐる祭り」等の魅力的なイベントの開催や平成25年6月には三保松原を含め富士山が世界文化遺産に登録されたこともあり、港湾エリアにおける観光・レクリエーション交流人口は着実に増加している。
		最終実績値	763万人		

定量的指標以外の交付対象事業の  
効果の発現状況  
(必要に応じて記述)

県内港湾における、輸出・輸入コンテナ取扱個数が40.4万TEU（平成22年度）から43.8万TEU（平成24年度）に、国際海上コンテナ定期航路数が24.5航路/週（平成22年度）から27.5航路/週（平成24年度）に増加したことにより、地域経済を支える物流拠点として陸・海・空のネットワークの形成に寄与した。

3. 特記事項（今後の方針等）

港湾は地域経済を支える物流拠点として重要な役割を担っており、引き続き、港湾施設の整備による陸・海・空のネットワークの形成による物流拠点としての利便性の向上や良好な港湾環境の形成による親水性の向上を図るとともに、安心・安全な港づくりに取り組んでいく。

# 事業効果の発現状況

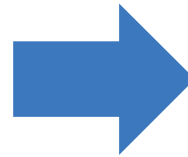
## 港湾改修事業

波除堤を整備した結果、港内の静穏度が確保されたことにより利便性が向上し、結果として、施設改良・補修の整備率の増加に寄与しました。

### 田子の浦港 西第3波除堤



整備前の状況



整備後の状況



# 事業効果の発現状況

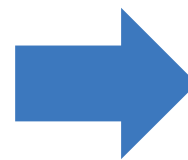
## 港湾改修事業

波除堤を整備(延伸)した結果、港内の静穏度が確保されたことにより利便性が向上し、結果として、施設改良・補修の整備率の増加に寄与しました。

### 沼津港 外港波除堤



整備前の状況



整備後の状況

# 事業効果の発現状況

## 港湾環境整備事業

緑地を整備した結果、良好な港湾環境が形成されたことにより親水性が向上し、結果として、施設臨港地区に占める緑地の面積率の増加に寄与しました。



整備前の状況



整備後の状況

### 田子の浦港 ふじのくに田子の浦みなと公園

整備後の状況(近景)

